

プラント状況確認結果(平成27年2月17日～平成27年2月24日)

平成27年 2月 24日
福島県原子力安全対策課

- 平成27年2月17日～平成27年2月24日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。
- ⇒ 平成27年2月22日、福島第一原子力発電所の構内側溝排水放射線モニタにおいて、警報が発生し、警報値を超える放射性物質を含む水が港湾内に流出しました。詳細はこちらをご覧ください。
- ⇒ 4号機において、平成25年11月18日に開始した使用済み燃料プールからの燃料取出し作業は、平成26年12月22日に完了しました。詳細はこちらをご覧ください。

(1) プラント状況 (2月24日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.2	4.4	4.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	15.2	20.0	17.9	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³)(A系)	1.10×10 ⁻³	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.02	0.04	0.06	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	13.0	26.2	21.1	8.4

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(2月24日午前10時)

最小 1.085(MP-6)～最大 3.773(MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(2月23日採取分)

最小 検出限界未満(物揚場前、6号機取水口前、港湾口)～最大 10(4号機スクリーン) Bq/l

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(2月23日採取分)

5,6号機放水口北側に30m:悪天候により採取中止
1～4号機放水口から南側に1.3km:悪天候により採取中止

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(2月23日採取分)

西門:検出限界未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(2月23日採取分)

最小 検出限界未満(3,4号機)～最大 210(2号機) Bq/l

【参考事項】

2月22日 福島第一原子力発電所の構内側溝排水放射線モニタにおいて、警報が発生し、警報値が

超える放射性物質を含む水が港湾内に流出しました。側溝排水路ゲートを閉止し、港湾への排水は停止しました。なお、モニタリングポストの指示値に有意な変動はなく、汚染水タンクの水位に変動もありませんでした。その後、港湾内の海水サンプリングを実施し、放射性物質の濃度に有意な変動はありませんでした。

(問い合わせ 024-521-1917)